

水に対する保護等級の試験

IP試験

浸入水の確認精度

向上オプションのご案内

IPX1～X7試験には、着色試験水をお勧め致します。

弊社採用の着色試験水は、通常光での高視認性に加え、紫外線での蛍光特性があります。

従来の問題点

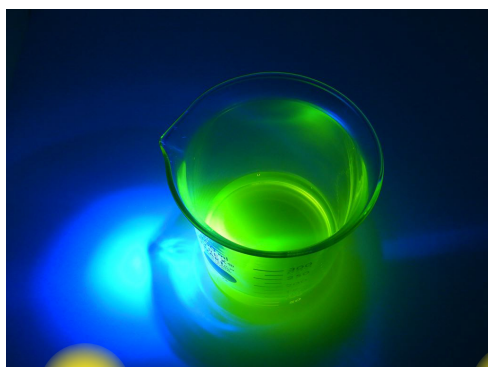
通常試験水(無色透明)での微量な浸入水の確認は、目視や触感に依存し、判定にばらつきが生じる要素(試験品筐体の色、素材、表面処理、構造等々)を、数多く含んでいます。また、浸入水の確認作業は、試験終了直後(浸入水が乾燥する前)に、速やかな確認が必要なため、後日の検証は、ほぼ不可能です。

着色試験水のメリット

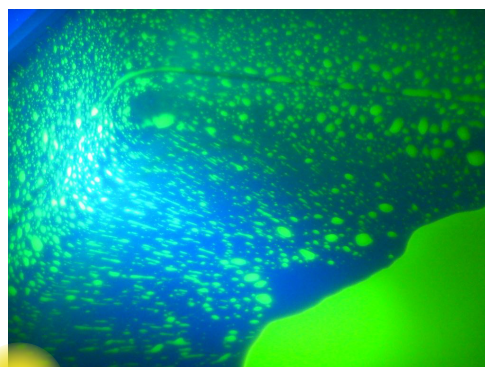
浸入水の検出精度が向上し、微細な浸入経路の発見につながります。目視で確認が難しい部位や、狭小部位の浸入水検出が可能になります。浸入水が乾燥した後でも、痕跡による後日検証が可能になります。

参考規格

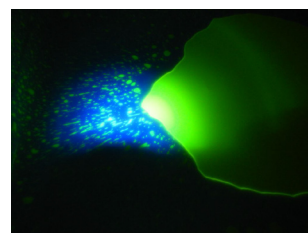
IEC 60068-2-18, JIS C 60068-2-18, NDIS 3423, MIL-STD-810G 他



着色試験水



紫外線を当てると発光します



20200107

株式会社 アイピーエス 長野EMCセンター

〒399-0601 長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1

TEL : 0266-44-5200 FAX : 0266-44-5300 e-mail : kankyo@ips-emc.co.jp

IPS
CORPORATION